



NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ニュース第 25 号 (H26.4.27)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 4月も下旬となりました。宮崎では新緑萌える季節となりました。皆様方の地域ではいかがでしょうか。

さて、山元香代子先生のザンビアでの活動状況がテレビ放映されて以来、多くの方からのご支援をいただいています。現在でも「テレビを見ました」

(1ヶ月遅れで放映された地域もあるようです)、「(地元宮崎での)新聞記事を見ました」ということでご寄付をいただいています。これまで同様、お名前のみで住所等がわからず事務局からご連絡のできない方もたくさんおられます。会のホームページにも再度掲載しますので、せめてメールアドレスやご住所を連絡いただきますと、事務局からお礼並びに会の活動報告等、送らせていただきたいと思います。いずれにしても、多くの皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げる次第です。

山元先生は、4月の日本小児科学会の招待講演での発表の後、4月16日にはザンビアに戻られ、早速ルアノ地区への巡回診療に出かけられています。

今回は会の最近の経過報告やルアノ地区への巡回診療報告、ザンビア情報等をお伝えします。

会の経過報告

前回のニュースで、3月22日に臨時総会を開催し、決算内容等を修正させていただいたことお知らせしましたが、それを受け、4月14日に国税庁、県税事務所、市役所で必要書類を入手後、16日に県の担当課に「認定NPO法人」の申請書類を提出してきました。今後、帳簿等関係書類について事務所に来られての直接の調査を受けることになります。

なお、帳簿等の書類を作成するに当たって、公認会計士の當房慶太さん(奥さんが賛助会員の知り合いということで繋がりました)にボランティアで多大のご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

また、宮崎県では初めての「認定NPO法人」の申請とのこと、審査に数ヶ月かかるとのこと。

現地活動報告(山元先生からルアノ地区巡回診療状況を含めて)

みなさまお元気ですか。日本のお天気はいかがでしょう。

私は、4月12日の小児科学会総会での招待講演を終えて、4月16日にルサカに戻りました。こちらは雨季が終わり、真っ青なきれいな空で、とてもしのぎやすいお天気が続いています。朝晩は寒く、厚手の毛布を出しました。

日本に戻っている間、テレビの放送があって、とても多くの方々に関心を持っていただきました。多くの方々に賛助会員になっていただき、とても多くの寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。新聞でとりあげられたり、大山健康財団の奨励賞をいただいたりと、ありがたいことが続きましたが、半面、怖いような身の引き締まる思いでした。

不在の間も、定期的にザンビアのスタッフと電話連絡をとって、巡回診療は継続されていました。雨季で道路状況が悪く、泥道にはまって動けなくなり、車の中で一夜を明かしたり、倒木が道路を塞いでいて、斧を借りてきて、切り倒しながら進んだり大変だったようです。そのため、2台のランドクルーザーもブレーキ、ギヤボックスの調子が悪くなり、修理工場に何度かお世話になったようです。昨年水につかったランドクルーザーは現在動いていますが、古いランクルはサスペンションの修理のため、まだ修理工場に入っています。

電話連絡で、若い運転手が頻繁に無断欠勤をしたり、事故を起こして2日間行方をくらましたりといろいろと問題を起していることを聞いていて、ザンビアに戻ったらどうしようかと悩み続けていました。戻ってみると、私用で車を乗り回したり、蚊帳を売って得た代金を使い込んだりと次々に出てきます。なぜこんなことをしたかと尋ねると、すみませんと言いながら言い訳を繰り返すばかりでした。とてもまじめな青年だったのですが。結局3枚の警告書を書いて、5月から日雇い扱いとすることとしました。ORMSの規則では、3回の警告書は解雇を意味するのですが、甘いのかもかもしれませんが、もう一度だけチャンスを与えることにしました。お手伝いさんのポーリンさんは、しばらく前から具合が悪かったらしいのですが、がんばって仕事に出てきて家の中をとてきれいにしてくれていましたが、糖尿病で突然入院することになりました。すぐに退院できたようですが、当分はお休みになりそうです。今日お見舞いに出かけたのですが、途中でエンジンオイルが漏れているらしく、車の警報が鳴りだし、あきらめて急きょ事務所に戻りました。

昨日4月23日はルアノの巡回診療でした。チペンビヘルスセンターから妊婦さんがルアノまで同乗させてくれと言われ、無理だと断っても聞かず、結局後ろの座席に4人ぎゅうぎゅう詰め状態でルアノまで走りました。道路は乾燥し、ぬかるんではいなかったのですが、雨季の後でこぼこがひどく、散々な道中でした。三重大と藤田保健衛生大学の医学生7人もレンタカーで巡回診療に同行されました。コミュニティのボランティアがせいぞろいしてみんなを迎えてくれ、入った部屋の中には、バナナ、ゆで卵、スイカが準備されていました。バナナが甘く、ゆで卵がとてもおいしかったです。こんなことははじめてで、とても驚きましたが、学生さんたちはとても喜んでいました。おなか一杯になってはりきって仕事をしましたが、患者がとても多く、マラリアの患者数がざっと数えても90人、7人のうち6人までがマラリアという家族もいました。最後は、抗マラリア薬がなくなってしまい、翌日24日、チペンビヘルス



(頭に乘せて運んでいる人)

センターまで届けました。ルアノのコミュニティヘルスワーカーのマチラさんが自転車でも取りに来るようになっていました。帰りは、ルサカの町に入ったのも全く知らず、家の門の前で運転手に着きましたよと呼びかけられるまでぐっすり眠りこんでいました。

どうぞこれからもご支援よろしく願い申し上げます。

ザンビア情報

改めてザンビアの事を皆さんにもお伝えしたいと思います。

今回はザンビアのお土産を写真でお伝えします。いずれも山元先生からいただいた物です。

一つは、ニュースの最初の部分に載せましたが、カップルが自転車に乗っているものです。とても素朴で色合いもまさにザンビアの人々の様子が伺える物です。

次に、ザンビアの木で作られた物です。内側に色の黒い部分があり、その部分に人の顔が彫ってあります。とてもおもしろいお土産です。

もう一つは、木を彫って作った角のある鹿（鹿とって良いのか？）です。

ぜひ一度ザンビアに行ってみつけてください。



賛助会費の納入について

賛助会費(一口 5000 円、一口以上)

の送金と連絡をお願いします。連絡先は法人代表 info@ormz.or.jp または日高 (hidaka1956@gmail.com) へ。またできる限り多くの方に賛助会員になっていただくようお願いのご協力もよろしくお願ひします。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、

口座番号：0126351

加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 (全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

*今後ともご支援のほどよろしくお願ひします。